



着物「春の足音」 w1500×h1600 mm



## 奈良田 登志子 Narata Toshiko

県内各地の山々から草・木・根を採取し、それらを煮出して染汁を作るのですが、秋田八丈としての決められた基本的な色の中で、現代風な新しい柄や色を生み出すのに苦心しています。工芸家協会の活動では、色々と刺激を受けています。会員との交流、特に懇親会がとても楽しいです。コロナ禍でこうした活動が制限されて寂しく残念に感じています。染織を始めてから43年が過ぎました。これからも長くこの仕事に携わっていきたいと思っています。

1950年10月8日鷹巣町綴子田子ヶ沢(現北秋田市)に生まれる。28歳から25年間滑川機業場で働き、2005年から故郷に「ことむ工房」を開設し現在に至る。